

オレゴン州のワインについて

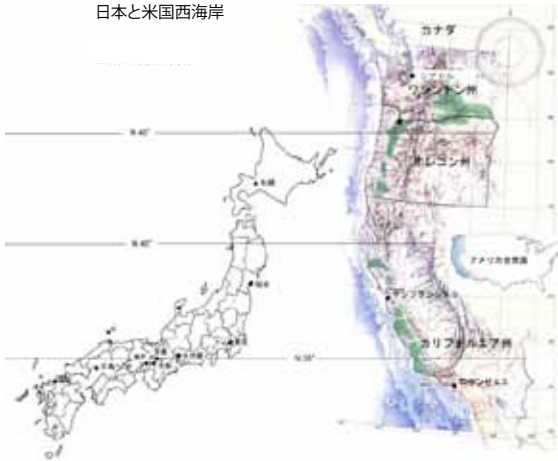
Willamette Valley, Oregon

北緯45度に位置するワールドクラスの
ピノ・ノワール、ピノ・グリとシャルドネ
を産する産地(テロワール)



日本 - 米国西海岸 - 欧州

日本と米国西海岸



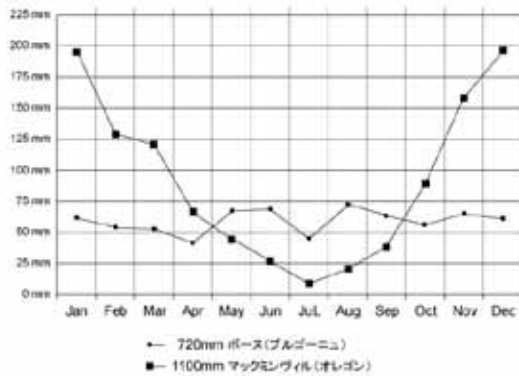
米国西海岸と欧州



* ウィラメット・ヴァレー - 北緯45°
フランスの主要産地と同じ緯度
エレガント

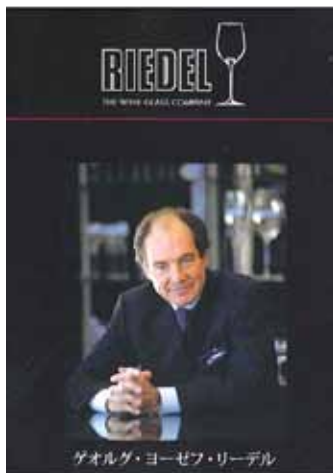
米国西海岸 - 地中海性気候

ブルゴーニュ、オレゴン、カリフォルニアの月平均降水量



米国西海岸は地中海性気候で夏は晴天が続き、冬に雨が降る。

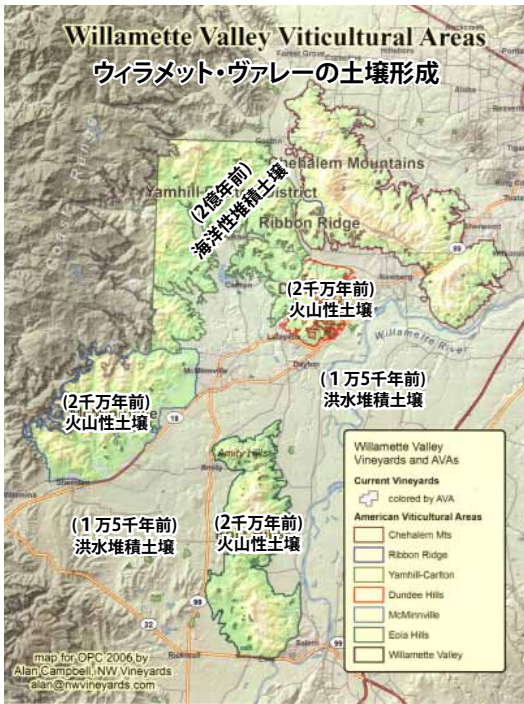
*ウィラメット・ヴァレー
豊かな果実味



ピノ・ノワール愛好家で知られるリーデル社の10代目当主、ゲオルグ・リーデル氏はブルゴーニュとほぼ同じ緯度に位置し、ピノ・ノワールの生育期に好天に恵まれるオレゴン・ピノ・ノワールの特徴を楽しむ為、オレゴンのワインメーカーの協力を得てvinum XLシリーズ、ピノ・ノワール・グラスを開発し、2007年に発売した。



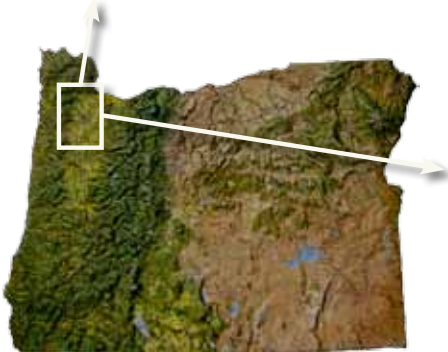
ウィラメット・ヴァレーの主な土壌



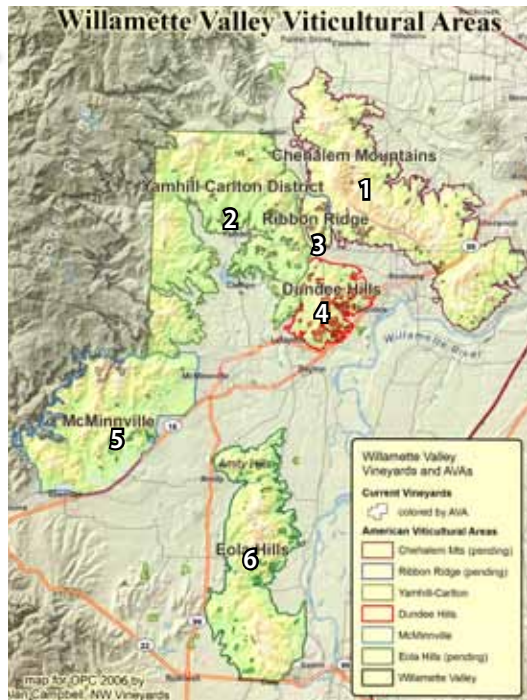
Willakenzie土壌 - 濃い赤、黒いフルーツのプロフィール
 Yamhill Carlton District, Ribbon Ridge, Chehalem Mountainsにみられる。



Jory, Nekia土壌 - 赤いフルーツのプロフィール
 Dundee Hills, Eola-Amity Hills, McMinnville, Chehalem Mountainsにみられる。

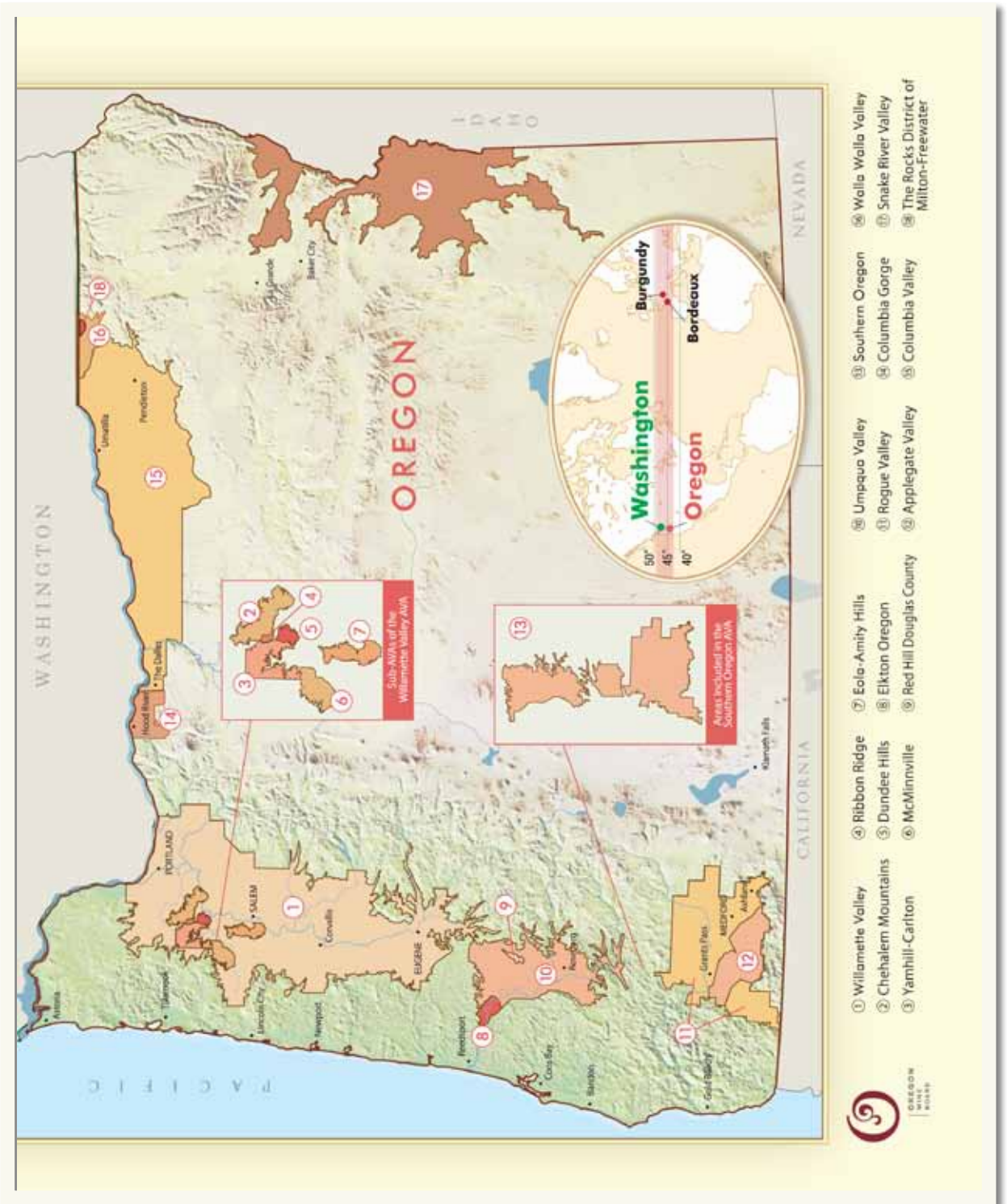


ウィラメット・ヴァレー内のサブAVA



1. Chehalem Mountains
 海洋性、火山性、洪水堆積土壌のミックス
2. Yamhill-Carlton District
 海洋性堆積土壌
3. Ribbon Ridge
 海洋性堆積土壌
4. Dundee Hills
 火山性堆積土壌
5. McMinnville
 火山性堆積土壌
6. Eola-Amity Hills
 火山性堆積土壌

オレゴン州のAVA地図



オレゴン州のワインづくりの歴史

- 1825年 ヴィニフェラの栽培始まる。
- 1890年代 カリフォルニア、オーストラリアと同時期 繁栄。
- 1900年に入ってから1950年代まで 経済不況、禁酒法の施行等により完全に衰退。
- 1961年 リチャード サマー アンブクワ ヴァレー ピノ ノワール
Richard Sommerが禁酒法廃止後初めてUmpqua ValleyにPinot Noirを含む
ヴィニフェラを植樹。
- 1966年 デヴィッド レット ダンディ ヒルズ ピノ ノワール ジ アイリー ヴィンヤーズ
David LettがDundee HillsにPinot Noirを植樹し、The Eyrie Vineyardsを設立。
- 1976年 コルマル
フランスのColmarよりアルザス・クローンを導入。
- 1979年 インターナショナル オリンピアード オブ ワイン
パリで開催されたゴーマヨ主催のInternational Olympiad of Wineで
ジ アイリー ヴィンヤーズ ピノ ノワール サウス ブロック リザーヴ
The Eyrie VineyardsのPinot Noir South Block Reserve 1975が
ピノ ノワール
Pinot Noir部門で第3位に入る。
- 1979年 スチームボート カンファレンス ピノ ノワール
Steamboat Conference (Pinot Noirのワインメーカーのみの評議会) 始まる。
- 1980年 インターナショナル オリンピアード オブ ワイン ジ アイリー ヴィンヤーズ ピノ
International Olympiad of Wine受賞ワインによる再チャレンジでThe Eyrie VineyardsのPinot
Noir South Block Reserve 1975が第2位となる。
- 1984年 レイモン ベルナルド ピノ ノワール シャルドネ
オレゴン州立大学がフランスよりRaymond Bernard博士を招聘し、Pinot NoirとChardonnayのク
ロネ (Dijonクローン) を導入。
- 1987年 ジ インターナショナル ピノ ノワール セレブレーション
The International Pinot Noir Celebration 始まる。
メゾン ジョセフ ドルーアン ダンディ ヒルズ
ブルゴーニュのMaison Joseph Drouhinが Dundee Hills に土地を購入。
- 1988年 ドメヌ ドルーアン オレゴン
Domaine Drouhin Oregon設立。
ロベール ドルーアン ピノ ノワール
* Robert Drouhin 私がPinot Noirをつくりたい場所は世界に2ヶ所しか
ブルゴーニュ オレゴン
ない、その場所はBourgogneとOregonである。
- 2000年 オレゴン ピノ キャンプ
Oregon Pinot Camp 始まる。
- 2013年 メゾン ルイ ジャド ヤムヒル カールトン レゾナンス ヴィンヤード
ブルゴーニュのMaison Louis Jadotが Yamhill-CarltonにあるResonance Vineyardを買収。
ヴォーヌ ロマネ メオ カミュゼ ヤムヒル カールトン ニコラ ジェイ
- 2014年 Vosne-RomanéeのMéo-Camuzetが Yamhill-CarltonにNicolas-Jayを設立。



米国のワイン法

American Viticultural Area (AVA)

1978年に制定された米国財務省のAlcohol and Tobacco Tax and Trade Bureauによって認定される周辺地域と明確に異なる独自の気候、土壌と自然環境の特徴を持つ葡萄栽培地域。

1980年に施行、最初のAVAはAugusta (Missouri)
2015年現在 全米に230のAVAがある。

主な州のAVAの数

カリフォルニア州	138
オレゴン州	18
ワシントン州	13
ニューヨーク州	9

米国西海岸各州のラベル表示規定

ワシントン州

AVA: 85%
収穫年: 95%
品種名: 75%

オレゴン州

AVA: 95%
収穫年: 95%
品種名: 90%

カリフォルニア州

AVA: 85%
収穫年: 95%
品種名: 75%



ピノ ノワール Pinot Noirのクローンについて

最近クローンについて関心が高まっていますが、最初は葡萄樹の病気に対処する為のものでした。1950年代までのフランスのほとんどの葡萄畑は接木による病気と第二次世界大戦中、後の放置により収穫量は減少し、葡萄樹の寿命も2、30年から10年以下に縮んでしまい惨憺たる状態でした。米国の葡萄畑でも同様の問題を抱えていました。

1955年、フランス政府はピノ ノワール シャルドネ レイモン ベルナルド博士にBourgogne、Alsace、Lorraine地方の葡萄畑の深刻な危機に対処する取り組みを依頼しました。博士はチームを組み、畑の中の健康な葡萄樹を見つけ出して一本一本名札を付け、選別し、病気の兆候を3年以上に亘って観察しました。そして健康な葡萄樹の切り枝を新しい台木に接木し、畑に植えて病気に対する耐性のモニターを続けました。最後にロット毎にワインをつくり、ワインメーカーやエキスパートと一緒にテイスティングを行なってその成果を査定しました。その結果、“115”や“777”といった番号が付けられた病気に強い、期待通りの成果を収める多くのクローンを収集することができました。

同様の研究は米国のカリフォルニア大学Davis校でもJames Olmo教授の下で行なわれましたが、葡萄樹の選抜数はフランスよりずっと少ないものでした。Pinot Noirはクローンの数が他の葡萄品種よりはるかに多い、最も古い葡萄品種のひとつで、遺伝子学的にも驚くほど多様性に富んだ突然変異を起こし易い品種として知られています。1977年にRobert Mondaviの葡萄栽培家はフランスの試験葡萄畑を訪れた時、125種類ものPinot Noirのクローンを目にしたと言っています。

1960年代後半から1970年前半の米国のワインづくりルネッサンス期には単に病気に強いクローンを手に入れるというだけでなく、畑の特徴にあった（冷涼な気候の栽培地には早熟の）クローン、緊密に実を付けていない房を持つクローン、凝縮度を高める果粒の小さいクローン等、ワインのつくられる畑の特徴、品質、味わいをはっきりと表現するクローン等に関心が高まってきました。

1960年代オレゴン州にカリフォルニア大学Davis校から導入されたクローンはWadenswil（スイスの葡萄栽培リサーチ・センターのあるZurich湖畔にある町）クローンとPommard（Bourgogneにある村）クローンを含む限られたものでしたが、Charles Coury、David Lett、David Adelsheim、Dick Erathといったパイオニアがフランスの研究者達、とりわけBernard博士と緊密な関係を深め、この動きの最先端にいました。

1975年オレゴン州はCorvallisにあるOregon State Universityを通して苗木の輸入ライセンスを取得しました。1984年Bernard博士が講演の為にオレゴン州立大学を訪れた時にクローン#113、#114、#115を持参し、1988年に博士はクローン#667と#777を送ってきました。これらはフランスのリサーチのほとんどが行われてきた大学の町に因んでDijonクローンとして知られるようになりました。博士は何故このようなフランスの知的財産ともいえるクローンを寛大にも分け与えたのかと聞かれると「よいワインが多過ぎることは決してないから」と答えました。

これらの新しいクローンは1989年に植え付けが許可され、最初に収穫されたのは1990年代半ばのことでした。これらはオレゴン州のPinot Noirづくりの初期に起こったことで、現在も新しいクローン選抜は行われ、導入されています。

白葡萄品種のクローン

WHITE CLONES IN OREGON

Arrival in Oregon	FPMS UC Davis	INRA Colmar, France	ONIVINS Dijon, France	Other
Before 1974	Chardonnay - Selection 108 (UCD 4 & 5)			Chardonnay - Left selection fr. Draper
	Gewürztraminer (fr. Colmar)			
	Müller-Thurgau			
	Muscat Ottonel (fr. Colmar)			
	"Pinot blanc" (actually Melon)			
	Pinot gris - Left selection prob. (UCD 1, 1A, 2, 3 fr. Colmar)			
	Sylvaner (prob. Fr. Colmar)			
1974	White Riesling (fr. Gm 110)			
	Chardonnay (UCD 15 & 16)			
1976		Auxerrois (C 36 & 45)		
		Gewürztraminer (C 456 & 457)		
		Pinot blanc (C 169 & 161)		
		Pinot gris (C 146 & 152)		
		Riesling (C 813)		
		Sylvaner (C 742 & 749)		
1977				Chardonnay (E 352, ANTAV, Espiguette)
				Chardonnay - BH planting, prob UCD 3 (Wente)
				Riesling (Gm 239) & 22 other traditional & new varieties (Geisenheim, Germany)
1984			Chardonnay (D 75, 76, 96, 98)	
1988			Chardonnay (D 77, 95, 277)	
1997				Large selection of Pinot blanc & Pinot gris clones of Italian & other origins brought to OSU
2000			Chardonnay (D 548)	
Future				Albariño, Arneis, Tocai friulano, Grüner Veltliner & other varieties brought in by individual growers

Clones in broad use are shown in bold. Prepared by David Adelsheim for Oregon Pinot Camp

ピノ・ノワールのクローン

PINOT NOIR CLONES IN OREGON

Arrival in Oregon	FPMS UC Davis	ONIVINS Dijon, France	Other
Before 1974	UCD 2A (Sel. Bl. 10/16, Wädenswil)		
	UCD 5 (heat treated ver. of UCD 4, "Pommard")		
	UCD 13 (Martin)		
	UCD 18 ("Gamay Beaufortais")		
1974	UCD 1 (Jackson "Kleinberger")		"Covry" selection (either mix of ucd 5 & 13 or "suitcase" import of c 538)
	UCD 4 (Ch. De Pommard, 1940/1945)		
	UCD 10 ("Beba")		
	UCD 12 (heat-treated ver. of ucd 10)		
	UCD 17 (Swiss, "Clevner Mariafeld")		
	UCD 29 (Jackson "Pinot St. George")		
1976			c 538 (INRA, Colmar)
1977	UCD 1A (Sel. B. III, Wädenswil)		E 236 (ANTAV, Espiguette)
			E 374 (ANTAV, Espiguette)
1984		D 59	
		D 60	
		D 123	
		D 156	
		D 338	
		D 375	
		D 10/18	
	D 113 (CTPS)		
	D 114 (CTPS)		
	D 115 (CTPS)		
1988		D 667 (CTPS)	
		D 777 (CTPS)	
1997		D 828 (CTPS)	
Future		D 927 (CTPS)	Miscellaneous "suitcase" clones & selections from Oregon vineyards

オレゴン州のワインについて



ORCA
INTERNATIONAL

オルカ・インターナショナル株式会社
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-2-19 9F
Tel: 03-3803-1635 Fax: 03-3803-1637